



6月22日（日）、球磨郡消防ポンプ操法大会が水上村で開催されました。梅雨空の下、本村からは1月の出初式で優勝した第6分団が出場し健闘しました。

## 目次

6月の定例会	2
7月の臨時会	3
一般質問	4~9
旬の話題、編集後記	10

球磨村世帯数 1,574世帯

人口 4,139人 男：1,963人 女：2,176人

(平成26年7月1日現在)

# 林道広野線工事などに11,046千円 補正予算等2件を可決 6議員が村政を問う

## 6月 定例会



6月定例会は、6月9日から11日までの3日間の日程で開催されました。今定例会では、報告、条例の改正、補正予算の3件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では、田代利一議員、多武義治議員、嶽本孝司議員、小川俊治議員、舟戸治生議員、高澤康成議員の6人が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えをたずねました。

報告関係では、平成25年度繰越明許費繰越計算書についての報告があり、農業基盤整備促進事業、緑の産業再生プロジェクト事業等7件、合計92,034千円が26年度へ繰越となりました。

予算関係では、林道広野線舗装工事費、同川島大岩線開設工事費、共助の村づくり支援事業補助金等11,046千円が追加補正され、歳入歳出総額が3,391,046千円となりました。

一般質問では、田代利一議員が、「村民の所得につながる施策、やさしいむらづくりに、村長の議員に対する認識について」、多武義治議員が「今回実施された球磨村議会議員選挙の所感、教育行政、かわせみの経営について」、

嶽本孝司議員が「県道人吉水俣線、村内の道路改良、峯川の改良、日本で最も美しい村連合について」、小川俊治議員が「第5次球磨村総合計画（後期基本計画）での農業振興にたいする具体的な内容と数値について」、舟戸治生議員が「治水対策と急傾斜地対策、農林業の振興について」多岐にわたり、執行部の考えをたずねました。

### 6/18

**渡地区の導流堤等現地視察**

渡地区で進められている浸水被害軽減対策事業の現地見学会が、6月18日、渡地区の現地で開催され、本議会も事業の進捗状況等確認のため、舟戸地区に設置された排水ポンプや球磨川と小川川の合流点に設置された導流堤を見学しました。



ポンプを可動させ、内水が球磨川に放流されるまでの過程を説明、見学者の理解を求めました。導流堤は、洪水時の水位低減対策として、昨年8月から工事が進められていたもので、今年3月に完成しました。

## 議会活動

### 6/27

**ダムによらない治水対策勉強会**



ダムによらない治水対策勉強会は、球磨郡町村議会議長会が主催、昨年引き続き2回目の勉強会が6月27日、あ

さざり町のせきれい館で開催されました。まず、国と県からこれまでの議論の経過と積み上げてきた治水対策案及び得られる安全度、氾濫シミュレーション、追加遊水地等の提案に対する検討結果、球磨川水系における防災・減災ソフト対策に対する県の財政支援について説明があり、質疑がなされました。質疑では、舟戸議員が現在の状況と共に早期の治水対策を要望されました。

# 7月臨時会

## 農業委員に田代知敏さん、川口新一さんを推せん

### 役場庁舎耐震改修工事等の予算を一部修正

第7回臨時会は、7月14日、1日間の日程で開かれました。財産の処分1件、補正予算の計2件を上程、財産の処分については原案可決、補正予算については、修正動議を可決し、修正議決した部分を除く部分について、原案のとおり可決しました。また、農業委員会委員に、田代知敏さん（一勝地・60歳）と川口新一さん（大瀬・72歳）が推薦されました。

## 就任あいさつ



議長 松野 富雄

皆様へ一言ご挨拶を申し上げます。

去る4月に執行されました村議会議員の改選に伴い、5月9日に開催されました臨時議会におきまして、議員各位のご推薦により、第20代議長の要職につくことになりました。

その重責に身の引き締まる思いがいたします。

皆様には、日頃より議会活動に対し、深いご理解と温か

いご指導を賜り、大変感謝いたしております。さて、4月の議会議員選挙におきまして、公職選挙法違反の容疑で逮捕者が出る事態になりましたが、あつてはならないことで、議員一同村民の皆様信頼され、常に対話のある「開かれた議会」であるように、より一層の努力をして参りたいと思っております。

少子高齢化による過疎化の影響で急速な人口減少が進んでいる中、なんとしても雇用の場の確保と所得向上に全力を注ぎ、若者の流失を防ぐ施策が必要であります。「議会は村民の福祉を考

え、村民の立場にたつて政策の最終決定の判断をしなければなりません、その決定された行財政が完全に達成できるよう監視することが議会の責務」だと考えます。議員一同、一致協力して、豊かで住みよい村づくりに邁進いたす所存です。

これからの議会活動に関する情報は、議会広報紙「議会だより」等で、その都度お知らせし、開かれた議会を目指して参ります。

議会に対しまして、更なるご指導とご協力をお願いし、皆様方のご健勝とご祈念を申し上げます。

平成26年7月

財産の処分では、村有林の立木を処分するもので、一勝地線香山約10ヘクタールのスギ、ヒノキの立木です。

補正予算（一般会計）関係では、125,417千円の追加補正が上程されましたが、役場庁舎耐震改修、改築工事費を認めない修正動議を議員4人が議長に提出、起立採決の結果、出席議員全員が修正案に賛成し、修正可決となりました。

このため、教育費の2,240千円を追加、歳入歳出の総額は、3,399,286千円となりました。

農業委員会委員の推薦は、任期満了によるもので、一勝地の田代知敏さん、大瀬の川口新一さんを推薦しました。

#### 平成26年6月定例会の議案等の審査結果

番号	件名	議決結果
報告第1号	平成25年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
議案第23号	地方自治法第96条第2項の規定する議会の議決に付すべき事件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第24号	平成26年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決

#### 平成26年7月臨時会の議案等の審査結果

番号	件名	議決結果
議案第25号	財産の処分について	原案可決
議案第26号	平成26年度球磨村一般会計補正予算について	原案一部修正

# 村コミュニティバスの問題点は

〔答〕9月の更新時期に見直す

## 田代 利一 議員

- 一、村民の所得向上につながる施策
- 二、やさしい村づくり
- 三、村長の議員に対する認識は

**田代議員** 〓 村長は、農業振興策として、6次産業化に取り組みながら、稼げる農業を目指す、再三発言している。しかし、球磨村で、どれくらいの人が稼げる農業になりつつあるのか、見当もつかない状況だ。所得向上に向けて、これまで行ってきた施策を伺う。

**柳詰村長** 〓 農業では、村の振興作物である甘長とうがらし、くりゆたか、ミシマサイコなど7種類の作物を支援することになっている。特に、ミシマサイコは安定した収入が見込まれることから、村独自の作物として推進していく。現在、軌道に乗ろうかとしているところであり、今後は特産品として推進していかねばならない。また、農業経営に係るコストの削減や、経営の安定を図るため、新規事業の導入や、これまでの補助率の見直しを図りながら進め

ていきたい。

**田代議員** 〓 認定農業者や新規就農者への支援は、どのようにしているか。

**柳詰村長** 〓 村内の認定農業者は18人で、梨やたばこ、施設園芸などで頑張っておられる。また、平成22年度から新規に就農された方が8人おられ、大変喜ばしいことだと思っている。支援として、村の新規就農奨励金50万円を受けられた方が5人、国の青年就労給付金150万円（最長5年間）を受けられた方が5人となっている。今後も、就農の促進や農業の安定的な経営を図るため、支援していく。

**田代議員** 〓 次に、村コミュニティバスが、今年4月から運行が開始された。2ヶ月過ぎたが、どのような状況か。

**柳詰村長** 〓 運行当初は、小さなトラブルもあったが、順調な運行ができていると思っている。今後は、各路線の利用状況を見て、さらに利用しやすくしていきたい。

**田代議員** 〓 運行に関して、いくつかの問題点もあると思う。特に大無田地区の住民より、これまでの福祉バスのほうがよかったとの意見もあるが。

**田代議員** 〓 運行に関して、いくつかの問題点もあると思う。特に大無田地区の住民より、これまでの福祉バスのほうがよかったとの意見もあるが。

**部総務企画課長** 〓 大無田地区からは、役場や一勝地の診療所に行く場合、これまでと違い渡駅で乗り換えしないといけないとの意見がある。他の路線についても、問題が生じているので、9月は路線の更新の時期になるので、見直しをしたい。

**田代議員** 〓 次に、村長は議員に対して、どのような認識でおられるのか伺う。

**柳詰村長** 〓 私の議員時代からの思いは議会ルールを尊重し、地域住民の福祉の増進を願う、球磨村の発展のために精進することが、議会人として求められていると思っている。

**田代議員** 〓 村長は、ある地区で議員は謙虚でなければならぬと発言された。村民に対して謙虚でなければ

ならないのか、あるいは、執行部に対してか。

**柳詰村長** 〓 私が議員になったのは12年前で、当時は議会活動にも、いろいろなルールがあったと思う。特に、地域のことに関しての問題は、その地域の議員が対処するようなことを先輩議員より教わった。どこでどのようなことを言ったのかよくわからないが、そのようなことを謙虚な気持ちという意味で言ったのだと思う。

（質問時間60分）



今年4月から運行が始まった村コミュニティバス

# 一勝地温泉「かわせみ」の平成25年度の決算状況は

**答** 黒字で決算することができた

## 多武 義治 議員

一、4月に実施された球磨村議会議員選挙の所感  
二、教育行政について  
三、かわせみの経営について

**多武議員** 4月に行なわれた、球磨村議会議員選挙の所感を。

**柳詰村長** 選挙違反の疑いで逮捕者が出たことは、あつてはならないこととびつくりしている。経験豊富な議員だっただけに、大変残念に思っている。

**多武議員** 今回の選挙で、村長が特定の候補者を応援しているとの話が聞こえてきた。それは、事実か。

**柳詰村長** 私の認識としては、選挙期間中に特定の候補者を応援したとは、思っていない。

**多武議員** 私も、3回目の議員選挙で、期間中村内を回り感じたことは、以前と比べ選挙どころではないという人達が多くなった気がした。言い換えれば、生活に困っている人達が増えている感だ。

**柳詰村長** 私も、12年前に議員に立候補した。毎回、村内を回って

ると、はじめは夫婦2人で元気だったが、次回には1人が入院され、独居になるケースが目立つようだ。村としては、昨年から介護予防や訪問支援に力を入れている。

**多武議員** 次に、特別支援教育は、発達障がいのある子どもの自立や社会参加に向けた取り組みを支援し、生活や学習上の困難を改善するため、適切な支援を行なうものと理解している。村内における特別支援教育の現状は。

**中根教育長** 村内の小中学校で、11名の児童生徒が特別支援学級に在籍している。

**多武議員** 特別支援教育は、障がいがあるかないかではなく、子ども一人一人を大切に育てようというのが根幹の考え方だ。したがって、それぞれの障がい配慮した支援が必要になると思う。教育の指導体制はどのようになっているか。

**中根教育長** 小中学校で、総勢6人のスタッフだ。うち、3人が特別支援教育の要資格者として認定している。それ以外に

も、心理士1人が各学校に向向いて支援を行なっている。

**多武議員** 障がいがある親のしつけや育て方の問題との考え方が一部にあるようだ。発達障がいに対する正しい認知度を高めるため、教育委員会としての対応は考えているか。

**中根教育長** 障がいというよりは、病氣と捉えることが大切だと思っている。教育委員会では、年1回の特別支援教育講演会や青年学級で、結婚する前の人たちに、発達障がいへの正しい認識を高めてもらいたいと考えている。



石の交流館で行なわれた ほたるコンサート

**多武議員** 次に、一勝地温泉「かわせみ」の平成25年度の決算状況は。

**柳詰村長** 16万円の黒字で決算することができた。

**多武議員** 黒字といっても、かわせみの決算の経費には、村の一般会計からの支出が計上されていない。村からいくら支出しているのか。

**宮本産業振興課長** 修繕関係や備品購入などで合計1,350万円になる。

**多武議員** かわせみの決算の経費と、村から、かわせみに支出した金額を合計しないと経営の状況が分からない。他にも、村から車輛の提供もあると思うので、そういったものを含めて全体的な損益計算書みたいなものを作成してもらいたい。

**部総務企画課長** そのようにしたい。

**多武議員** 近ごろ、かわせみの従業員が退職者が多いようだ。原因は、昨年までの赤字経営に対する批判や給与の低さなどによるものだと思う。働く人のやる気を引き出しているのも取締役の役目であると思うが。

**柳詰村長** 従業員に、ボーナスも払えない状況で申し訳なく思っている。一生懸命頑張って、生活の安定になるような職場にしていきたい。

(質問時間50分)

# 県道人吉水俣線の冠水被害対策は

【答】かさ上げを要望していく

**嶽本 孝司議員**

- 一、県道人吉水俣線について
- 二、村内の道路改良について
- 三、峯川の改良について
- 四、日本で最も美しい村連合について

**嶽本議員** 県道人吉水俣線は、球磨川の左岸部にあたり、大雨による増水で、毎年のように冠水する被害が出ていますが、対応はどのようにしているのか。

**柳詰村長** 県道人吉水俣線は大雨により渡から那良口間、那良口から友尻間が通行できないことが、たびたび発生している。道路冠水が始まると通行中の事故が発生しないよう防災無線で放送している。村では県に対し道路のかさ上げの要望を行っているところである。

**嶽本議員** 県がダムによらない治水対策によって、道路を整備するという事だが、県道で改善してほしい所をひとつだけ、上げるとしたら。

**柳詰村長** 至るところで浸水して

いるので、順番をつけるわけにはいかないが、現在思っているのは、那良口から友尻間をかさ上げをすればと考えている。

**嶽本議員** 村道峯、山口線の進捗状況について伺う。

**柳詰村長** 平成26年度、当初予算で測量設計費について承認をいただいている。今後、設計内容等を確認した上で、測量業務の入札を行ない、準備を進めていく。

**嶽本議員** 峯川の改良工事の進捗状況について伺う。

**柳詰村長** 峯川下流に内水排水ポンプ設置工事が進められている。今後、豪雨による冠水状況や、排水ポンプを運転したときの排水状況を調査しながら整備を検討したいと考えている。河川沿いの農地所有者の協力が必要なので、協議しながら進めていきたい。

**嶽本議員** 日本で最も美しい村連合に加入されたが、今後どのように進

めていけるか伺う。

**柳詰村長** 昨年、全国で54番目の加盟が承認された。宣言することで自分の地域に誇りを持ち将来にわたって美しい地域づくり、地域の活性化を推進するのが、この加盟の目的である。連合への加盟を機に球磨村を日本で最も美しい村としてブランド価値を高め、情報を発信し、私たち一人ひとりが手を取り合って真の美しい村づくりを作り上げていく。

**嶽本議員** 村のPRのためにも、案内板の設置や新しい取り組みはされたか。

**宮本産業振興課長** 今まで棚田フォトコンテストを実施していたが球磨村全体を見てもらって、自然、情景をテーマとした新しいフォトコ

ンテストを開催する。看板の設置については今年度予算で対応する。  
**嶽本議員** 最後に、ダムによらない治水対策による道路のかさ上げや、渡駅前付近の総合開発の青写真等もお願いしたい。  
(質問時間60分)



大雨によりたびたび冠水する県道人吉水俣線（那良口付近）

# 農業振興は目標を明確にした取り組みが必要では

## 〔答〕個別農家の規模拡大には限界、集落営農の推進が必要

### 小川 俊治 議員

#### 一、農業振興について

**小川議員** Ⅱ第5次総合計画の後期基本計画で、農業経営の発展目標を明確化するとされている。その内容と、数値化できるとすれば、示してもらいたい。その上で、効率的かつ安定的な農業支援、集落を構成する小規模農家への支援、持続可能な農業への支援について、その内容を示してもらいたい。

**柳詰村長** Ⅱ後期基本計画で述べているとおり、基幹産業である農業の発展は、欠かすことのできないものである。中山間地域では、農業条件が厳しく、個別農家の規模拡大は限界があり、集落営農の推進が必要だ。農業経営の明確化について、中、長期的に目指す経営の姿を経営目標と定め、目標達成に向けた経営計画を立て実践する。経営目標は①強い農業への支援②高齢者でも稼げる農業の推進③農地の保全と農

用地の確保④持続可能な農業への支援及び農業振興に関する会議として

いる。具体的には、効率的かつ安定的な農業支援は、生産性の高い農業経営の支援として、認定農業者への支援等を進める。集落を構成する小規模農家への支援は、耕作放棄地の解消及び発生防止、小規模農家が永続的に続けられるよう地域で支えあう集落営農の組織化と推進。持続可能な農業への支援は、村単独補助事業による継続した農業支援を実施する。また、要望調査を行い、ニーズに応じた補助事業のメニュー、補助率の見直しが必要だ。

### 宮本産業振興課長

Ⅱ後継者不足、

高齢化に対する補助メニューの要望もある。村補助事業30%補助率の基本線は変えられないが、ニーズに応じた補助の内容にできるようにしたい。

### 小川議員

Ⅱ村がこの先、どのような農業の姿を描いて進んでいこうとするのか、よく見えない。将来のビジョンはあるのか、目標の明確化について再度伺う。

宮本産業振興課長 Ⅱ高齢化、後継者不足が喫緊の課題となっている。5年、10年のスパンで考える必要がある。集落営農組織といかなくても、集落営農の形にする必要があると思う。また、6次産業化の条例を具体化が必要と思う。物産館の設置も選択肢の一つだ。

**小川議員** Ⅱこれから先の農業がどれだけ生き残っていきけるのか、担い手不足が深刻な状況になりつつある中で、希望が持てる方向性はあるのか。

**柳詰村長** Ⅱ果樹、たばこ、施設園芸等、得意分野での支援を強化すれば伸びていけると思う。新規就農者がこの4年間で8人になったことは明るい。山間地域については、もう少し農業のやり方を考えないと後継者も育たないし、大変危惧している。

### 小川議員

Ⅱ農業振興を進める上で、新農業推進本部の機能が重要な位置づけとなると思う。そこで、開催回数と内容、下部組織の幹事会、推進委員会の取り組みは。

### 宮本産業振興課長

Ⅱ年2回の開催で、村独自の政策も盛り込んで農業の在り方について検討している。下部組織については、資料を持ち合わせていないので説明できないが、各専門部会では、協議をしている。

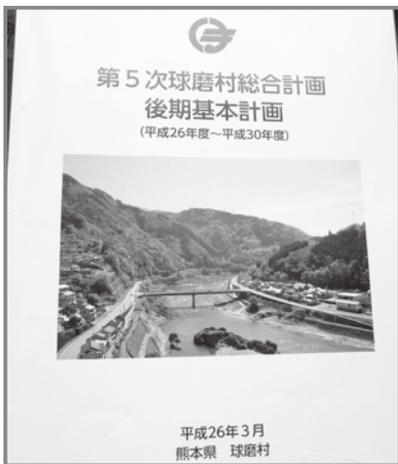
### 小川議員

Ⅱ農家との連携や、意見の集約とか、今後必要になると思うが。

### 宮本産業振興課長

Ⅱ専業農家からの計画書に基づき支援をしながら振興を図る。山間地での問題解決については、原点に戻り協議をしていく。

(質問時間60分)



# 防災避難計画は

〔答〕 一番大事なことは、早目の避難が命を守る事につながる

## 舟戸 治生議員

一、治水対策と急傾斜対策について  
二、農林業の振興について

### 舟戸議員

〓 渡地区の浸水被害軽減対策で、舟戸、発船場、島田の3ヶ所に排水ポンプが設置された。その他にも、今村、地下、山口などにも排水桶管があるが、球磨川が増水したときの状況を把握されているか。

### 柳詰村長

〓 住宅浸水被害を軽減するため、国土交通省において、舟戸、発船場、島田に排水ポンプの設置工事が進められている。また、熊本県においては、小川の堤防整備工事に伴い、島田地区のほうに排水ポンプを、郵便局側のほうに排水桶管を整備しているところである。

### 舟戸議員

〓 浸水被害により田畑が冠水し、砂などが堆積する。その後は、除去しなくてはならず作物への悪影響も心配しているが。

### 川口建設課長

〓 浸水対策が現在の

補助事業でできるか考えているところだ。時期的にも長くかかると思うので、地域の農地の所有者の方とも協議しながら進めていきたい。

### 舟戸議員

〓 次に急傾斜地、土石流対策について伺う。

### 柳詰村長

〓 土石流危険渓流の調査が、県において、平成25年10月から26年3月にかけて行なわれている。報告書がまとまり次第、住民説明会が行なわれると思っている。

### 舟戸議員

〓 次に、避難計画について伺う。住民に対して、自宅周辺の危険箇所や地域の危険箇所の情報、提供はできているのか。

### 柳詰村長

〓 土砂災害警戒情報が発表された場合、速やかに村内全域に防災無線で情報を流すことにしている。あわせて、周囲の状況を監視し、早めの避難を呼びかける事になっている。一番大事な事は、早目の避難が命を守る事につながると思っ

### 舟戸議員

〓 一勝地、渡小学校と球磨中学校の上部に急傾斜地崩壊危険箇所がある。

また、千寿園も土石流の危険区域被害想定区域内にあるが、これらの対応は。

### 柳詰村長

〓 千寿園付近については、上流に、砂防ダムが建設されており、異常堆積までには至っておらず、危険渓流についての対策はとっている。

一勝地小学校、球磨中学校に関しては、砂防ダムを設置するように要望しており、測量設計が完了したところである。

### 舟戸議員

〓 次に農林業の振興について伺う。農業経営への支援で、果物出荷箱や米袋、お茶袋などへの補助は出来ないものか伺う。

### 宮本産業振興課長

〓 地元産米を売るといふ販路の拡大に対しての施策が重要になっている。ブランド米



6月に行なわれた渡地区排水ポンプの住民説明会

(棚田米) に対して商品価値を高めるならば、今後の6次産業化の中で、対応が可能ではないかと思う。また、村の農業振興の補助金は、今後、時代に合った方向で考えていく必要がある。

### 柳詰村長

〓 生産性の高い農業経営の推進を図るために、さらなる経営発展のための計画や、実践かつ結果の点検と新たな計画策定案への支援を行なう。

(質問時間60分)

# 共助の村づくり、今後の取り組みは

**答** 人と地域が主体となり、地域の可能性と特色を引き出す  
支援事業補助金を創設した

**高澤 康成 議員**

一、防災・消防対策について  
二、共助の村づくりの現状と課題  
について

**高澤議員** 消防団の果たす役割と  
団に対する報酬の見直しについての  
考えは。

**柳詰村長** 条例定数からすれば、  
70名の欠員だが、現状維持を保って  
もらいたい。団員の士気を高める支  
援、団員への入団意欲を高める施  
策、生き生きと活動できる環境づく  
りが必要。今後は、待遇面の改善も  
検討したい。

**部総務企画課長** 一般団員の報酬  
について、平成12年以降改正してい  
ないので、見直したい。  
**高澤議員** 消防組合の広域化が進  
んでいない状況で、近隣組合との対  
応を協議しているのか。

**部総務企画課長** 広域連携は人吉  
消防組合と近隣の八代管轄の消防組合  
とは協定を結んでいる。緊急出動の要  
請については、近隣地域も災害状況下  
であり、調整しながら対応する。

**高澤議員** 村と消防組合との協定  
書の中身について、見直しの考えは  
あるのか。

**部総務企画課長** 協定書の内容に  
沿って、ミスがないように対応して  
いきたい。協定書とは別に、行政と  
消防団、消防署との連携を別冊とし  
て作りたい。

**高澤議員** 災害の初動体制の確立  
に向けた防災無線システムの活用と  
老朽化に対する調査と協議は行なっ  
ているのか。

**部総務企画課長** 現在のアナログ  
方式からデジタル化に変わると思  
う。その際、総合通信できるような  
システムにしたい。孤立する可能性  
が高い箇所について、電気、電話が  
止っても使用できるアンサーバック  
方式で対応している。今後、施設の  
設置、時期について検討する。

**高澤議員** 次に、共助の村づくり  
の現状と課題について伺う。  
**柳詰村長** 地域が主体となり、地  
域の可能性を引出し、特色のある地  
域づくりを図りたい。住民参加によ  
る創意工夫により、活力ある共助の  
村づくりや日本で最も美しい村づく

りを推進するために、共助の村づく  
り支援事業補助金を創設した。

**高澤議員** 村づくり補助金の限度  
額を10万円にした理由は。

**部総務企画課長** 現在の公民館組  
織のある組織で実施されている活動  
を見る中で、その実績の範囲内で十  
分活動できると判断した。

**高澤議員** 各区に職員を配置して  
いるが、位置づけと共助の村づくり  
に対する意識は。

**部総務企画課長** 職員が地域に出  
向いて情報収集することでの配置。  
行政区ごとに温度差があり、公  
民館組織が立ち上がっている行  
政区は機能している。意識の向  
上と温度差の解消については職  
員同士の切磋琢磨と協議の中で  
取り組む。

**高澤議員** 班長の位置づけと  
処遇改善、リーダーとしての育成  
の考えは。

**部総務企画課長** 21の行政区  
については変える必要はないと  
思う。処遇の見直し、活動の在  
り方については、9月の区長会  
に素案として提言できるように

したい。できれば27年度実施に移し  
たい。

**高澤議員** 選挙で不祥事があつた  
が、日本で最も美しい村づくり、共  
助の村づくりを実現するために必要  
なことは何か。

**柳詰村長** 公職選挙法違反容疑、  
大変不名誉なこと。私も議員の皆さ  
んも真つすぐな政治活動を心に秘め  
ていかなければならないと思う。村  
民のきずなを深め、村民が力を合わせ  
て取り組むことが一番大事だと思う。  
(質問時間60分)

**豆知識** アンサーバック方式  
災害時でも屋外拡声支局との通話がで  
きるシステム。



年1回行なわれる球磨村防災会議



# 家庭・地域と連携して、子どもたちに豊かな心を

渡小学校 校長 大園 恭幸



私は、4月の異動で八代市立有佐小学校から地元球磨人吉に帰って来ることができました。微力ではありますが、子どもたちの命を守ることを第一義に考えながら、知・徳・体の調和のとれた人づくりを「チームワーク・フットワーク・ネットワーク」の三つの和をもって職員と共に取り組んで参りますのでよろしく申し上げます。

さて、本校は、熊本県教育委員会から「道徳教育用郷土資料『熊本の心』活用事業」という研究指定を受けました。この指定は、教育委員会が開発した道徳教育用物語資料の有効活用について、道徳の授業だけではなく、他の教育活動や家庭・地域の中に広げて研究をしていくものです。現在、研究テーマを「郷土を愛し、命を大切にす  
る豊かな子どもの育成」として研究のスタートを切ったところです。現段階では、研究内容について具体的なお知らせはできませんが、地域・保護者の皆様に授業へ参画いただいたり、本村にある地域素材の教材化に協力いただいたり等、家庭・地域と連携した研究ができればという考えがあります。学校からお願いや呼びかけがあった際は、「地域の宝である子どもたちの心づくりのために」とご理解、ご協力を  
よろしく申し上げます。

## 編集後記

村民の皆様には、日頃より議会活動に対し、ご支援、ご指導いただきましてありがとうございます。

さて、議会の広報活動につきましては、平成8年から定例会ごとには広報紙の発行を続けています。今期も、議会の多くの情報を村民の皆様へ提供しながら、活力ある議会活動を行なっていきたいと思います。広報委員も未熟ではありますが、議会内容を詳しく伝えることができるよう、紙面作りに努力していきますのでご愛読いただきますよう、申し上げます。  
(多武 義治)



- 広報委員長 多武 義治
- 広報副委員長 犬童 勝則
- 広報委員 小川 俊治
- 広報委員 浅野 茂